

# 坂出中学校 第3学年英語科での実践事例

題材名 「オバマ大統領の思いを感じ取ろう」

坂出市立坂出中学校 教諭 西村 小夜子

## アクティブラーニングの視点からの工夫

- リスニングの聞き取りについて、個人→グループ→全体と、段階を踏んだり、班で意見を交流させたりすることで、主体性・協働性を意識して取り組ませる。
- 平和を希求した洋楽を聞くことで多角的にオバマ大統領の思いを感じることができるようになる。

### 1 学習指導過程（本時1／1）

○本時の目標

- ・友だちと協力して、オバマ大統領のスピーチ内容を聞き取ることができる。
- ・オバマ大統領のスピーチや『We are the world』の曲を聞きながら、平和に対する思いを深める。

| 学習活動   | 指導上、留意した点  |
|--|--|
| 1 オバマ大統領や、彼が行った広島でのスピーチについて確認する。   | <b>主</b> ・教師の英語での説明を聞き、学習に対する興味・関心を高める。<br><b>対</b> ・教師とのやりとりを行ったりそれを聞いたりしながら、英語表現について振り返らせる。  |
| オバマ大統領は、どのような思いで、広島でスピーチを行ったのだろうか。   |  |
| 2 オバマ大統領のスピーチを聞き取る。<br>(1)個人で聞き取る。<br>(2)班で聞き取る。<br>(3)班で聞き取ったことを発表する。<br>(4)班で、担当箇所を日本語に訳す。                         | <b>主</b> ・スピーチ原稿を空らんうめにしたたり、班ごとに分担箇所を分けることで、集中して聞き取らせる。<br><b>対</b> ・班で答えを照らし合わせることで、聞き逃していた箇所に気づかせる。<br><b>深</b> ・日本語訳を工夫することでスピーチに込められたオバマ大統領の思いを、考えさせる。 |
| 3 『We are the world』を聞く。   | <b>深</b> ・スピーチや音楽に込められた平和への思いを班で交流させる。   |
| 4 本時のまとめをする。   |  |
| [期待する生徒のまとめのこぼれ]<br>・アメリカ大統領が「平和な世界」の構築を強く求めていることが分かった。<br>・学んできた英語を用いて、アメリカ大統領のスピーチを聞き取れてうれしい。これからも、英語でニュースを聞いてみたい。 |  |

### 2 実践後の生徒の変容

- グループでリスニング活動に取り組むことで、協力しながら問題解決を図る様子が見られた。
- 時をとらえた話題のスピーチや音楽など、資料を工夫することで、「生きた英語」にふれる喜びを実感した生徒が多かった。

### 3 本実践での課題

- スピーチ内容をじっくり読み込み、既習の文法の確認をする時間があればよいのではないか。
- 自分の平和に対する思いを英語で交流させると、表現力・考えともに、より深まると思う。

